

Let's come together!



梯
剛之

©Masashige Ogata



松本
紘佳

©Sho Yamada

ベートーヴェン生誕
250周年

ベートーヴェン：ピアノソナタ「月光」
バルトーク：「子どものために」より
ショパン：子犬のワルツ/ 幻想即興曲

ベートーヴェン：ヴァイオリンソナタ
「クロイツェル」

2020年11月4日(水) フィリアホール

東急田園都市線青葉台駅前東急スクエア5階

午前の部：10:45 0歳からのバリアフリーコンサート&音楽遊びの会（舞台の上）

午後の部：15:15 0歳からのバリアフリーコンサート（舞台の上）

夜の部：19:00 コンサート（小学生以上のみ入場可）

（新型コロナウイルス感染症対策を施しております。）

お申込み

✉ ticket.info.222@gmail.com

☎ 090-6543-5456

全自由席

親子1組（小学生以下の子1人と親1人）2,000円

家族追加1人 500円

一般（1人）2,000円

主催：愉音 <https://www.yuon.net>

後援：横浜市青葉区役所 駐日ハンガリー大使館 あおば地域サポート補助金交付事業



2020年秋。 ベートーヴェンを聴こう！

数々の苦難を不屈の精神で乗り越え、その57年の生涯を通じて私たちに普遍の愛と生きる勇気を与える素晴らしい作品を遺した楽聖ベートーヴェン(1770年～1827年)。

新型コロナウイルス感染症により人と人の結びつきの尊さがいっそう大切に感じられるようになった2020年。今年はベートーヴェンの生誕250周年となります。

絶望の中で記されたハイリゲンシュタットの遺書の前年1802年と翌年1804年にそれぞれ作曲された「幻想曲風ピアノソナタ～月光～」作品27-2とヴァイオリンソナタの傑作「クロイツェル」作品47。

夢の中にあるかのように迷い、そして疾走する魂が、苦難を突き抜け輝ける生命の賛歌に至ります。

類いまれな美しい音色に加え近年更にその表現に確信と深みを増しているピアニスト梯 剛之と、ウィーンより帰国後、梯と共演を重ねている気鋭のヴァイオリニスト松本絃佳が演奏します。

フィリアホールに集い、ベートーヴェンの魂の軌跡を共に聴きましょう！

梯 剛之 ピアノ Takeshi Kakehashi



©Masashige Ogata

東京都出身。小児癌により生後1ヵ月で失明するが4才半よりレッスンを始める。佐々木 弥栄子、高岡慶子、阿部美果子氏に師事。1990年八王子市立中山小学校卒業と同時にウィーン国立音楽大学準備科に入学、主にエリザベート・ドヴォラック＝ヴァイスハール教授に師事。1994年チェコの盲人弱者国際音楽コンクール、ドイツのエトリンゲン青少年国際ピアノ・コンクールで参加者中最年少優勝。1995年アメリカのストラヴィンスキー青少年国際コンクール第2位。1997年村松賞受賞。1998年ロン＝ティボー国際コンクール(パリ)第2位およびSACEM賞(リサイタル賞)、シュヴィオン＝ボノー財団賞受賞。1999年都民文化栄誉章、出光音楽賞、点字毎日文化賞を受賞。2000年ショパン国際コンクールワルシャワ市長賞受賞。これまでにプラハ交響楽団、国立サントペテルブルク交響楽団、フランス国立管弦楽団ドレスデン歌劇場室内管弦楽団、ザルツブルク・モーツァルトテウム管弦楽団、マラー・チェンバー・オーケストラ、スロヴァキア・フィルハーモニー、仏国立ロアル管弦楽団、オストロボスニア室内管弦楽団、ロイヤル・ストックホルム・フィルハーモニー、NHK交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、

バルカン室内管弦楽団など数多くのオーケストラでソリストを務める。指揮者では小澤征爾、ジャン・フルネ、ガリー・ベルティエニ、ユベール・スダーン、アラン・ギルバート、小林研一郎、ゲルト・アルブレヒト、ファビオ・ルイーゼ、ダニエル・ハーディング他と共演、ライブツィヒ弦楽四重奏団とも重ねて共演している。これまでに国内はもとより、オーストリア、ドイツ、チェコ、スロヴァキア、フランス、イタリア、ロシア、スウェーデン、アメリカ、韓国、タイ、アルゼンチン、ブラジル、ウルグアイ、ベネズエラ、サラエボ他で演奏。2015年7月にはBunkamura オーチャードホールで“「徹子の部屋」クラシック2015”に出演。NHK「芸術劇場」、「クラシックアワー」、「N響アワー」、「毎日モーツァルト」、「ぴあのピアノ」、テレビ朝日「徹子の部屋」等テレビ、ラジオ出演も多い。2005年10月に「子供に伝えるクラシック制作委員会」を設立、約7年がかりでウィーンの生んだモーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトの作品の弾き語りをDVDにし、文科大臣の推薦を得て日本全国の小学校、特別支援学校約2万3千校、海外の日本人学校・補習授業校約300校に無償配布、絶大な評価を得た。引き続き現在は各地の小中学校を訪問演奏活動を続けている。2013年以降毎年、ヴァイオリンのヴォルフガング・ダヴィッドとのデュオ・コンサートを開催。ソナーレ・アートオフィス、キングレコード、アートユニオン、アゴラ(伊)、毎日クラシックスより、モーツァルト、ショパン等、多くのCDをリリース。「ピアノ・リサイタル2013」SONARE1023、「W.ダヴィッド&梯 剛之デュオ・リサイタル2015」SONARE1030は「レコード芸術」誌で特選盤、「ピアノ・リサイタル2014」SONARE1027、「ピアノ・リサイタル2016」SONARE1031、「W.ダヴィッド & 梯 剛之デュオ・リサイタルVol.III」SONARE1032、「W.ダヴィッド & 梯 剛之デュオ・リサイタル2017」SONARE1041、「ショパン:ピアノ・ソナタ第2番&第3番」SONARE1043は同誌準特選盤に選ばれた。

松本 絃佳 ヴァイオリン Hiroka Matsumoto

第10回ヴェニツァフスキ・リピンスキ国際コンクール・ジュニア部門第2位、全日本学生音楽コンクール東京大会及び全国大会小学校の部第1位、ユーディ・メニューヒン賞(ドイツ・クロンベルクアカデミー)他受賞多数。ハンガリー・ブダペストにてリスト室内合奏団とヴィヴァルディ作曲「四季」全曲協演デビュー。モーツァルトの幼少期ヴァイオリンを国立新美術館にて演奏し注目された。ハンガリーとスロヴァキアにてジェール・シンフォニー管弦楽団(カールマン・ベルケシュ指揮)とチャイコフスキーとメンデルスゾーンとのヴァイオリン協奏曲を協演し、ハンガリー一営テレビ局とスロヴァキアラジオ局より放映された。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」出演。ハンガリー・リスト室内合奏団、ハンガリー・ジェールフィル、ドイツ・イエナフィル、東京交響楽団、東京シティ・フィル、オーケストラアンサンブル金沢、日本センチュリーオーケストラ、日本フィル、新日本フィル、神奈川フィル他と共演。これまでに原田幸一郎、ザハール・ブロン、ジェラルド・プーレ、ボリス・クシュニール他に師事。文化庁新進芸術家海外研修員としてオーストリア・ウィーンに留学。ウィーン市音楽芸術大学および同大学院修士課程を最優秀の成績で卒業。国内外で演奏活動を行う傍ら、慶應義塾大学総合政策学部にて在学。



©Sho Yamada